

平成30年第6回教育委員会議事録

平成30年4月25日（水）

杉並区教育委員会

教育委員会議事録

日 時 平成30年4月25日（水）午後2時00分～午後2時24分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 井出 隆安 委員 對馬 初音
委員 久保田 福美 委員 伊井 希志子
委員 折井 麻美子

出席説明員 事務局次長 田中 哲 教育企画担当部長 白石 高士
教育人事企画課長
学 校 整 備 大 竹 直 樹 生涯学習担当部長 鈴木 雄一
担 当 部 長 中央図書館長
庶 務 課 長 都 筑 公 嗣 学 務 課 長 高 山 靖
特 別 支 援 阿 部 吉 成 学校支援課長 高沢 正則
教 育 課 長 学校整備課長 渡邊 秀則
学 校 整 備 岡 部 義 雄
担 当 課 長 生涯学習課長 本橋 宏己 済美教育センター長 平崎 一美
推 進 所 長 済美教育センター 寺本 英雄 済美教育センター 古林 香苗
統 括 指 導 主 事 統 括 指 導 主 事
済美教育センター 東口 孝正 中央図書館次長 加藤 貴幸
就 学 前 教 育 担 当 課 長

事務局職員 庶務係長 佐藤 守 法務担当係長 岩田 晃司
担 当 書 記 小 野 謙 二

傍 聴 者 1 名

会議に付した事件

(報告事項)

- (1) 学校運営協議会委員の任命について
- (2) 杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認について
- (3) 平成29年度「杉並区中学生小笠原自然体験交流事業」の実施報告について
- (4) 中央図書館全面改修工事設計等業務委託受託者候補者の選定結果について

目次

報告事項

1 報告事項

- (1) 学校運営協議会委員の任命について・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (2) 杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認について・・・・・・・・ 6
- (3) 平成29年度「杉並区中学生小笠原自然体験交流事業」の実
施報告について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (4) 中央図書館全面改修工事設計等業務委託受託者候補者の選
定結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

教育長 それでは定刻になりましたので、ただいまから平成30年第6回杉並区教育委員会定例会を開催いたします。本日の会議について事務局より説明をお願いいたします。

庶務課長 本日の議事録署名委員につきましては、教育長より事前に折井委員との指名がございましたので、どうぞよろしくをお願いいたします。

続きまして、本日の議事日程についてでございますが、事前にご案内のとおり報告事項4件を予定しております。

以上でございます。

教育長 それでは、本日の議事に入ります。報告事項の聴取を行いますので、事務局から説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは、報告事項1番「学校運営協議会委員の任命について」。学校支援課長からご説明申し上げます。

学校支援課長 私からは、学校運営協議会委員の任命についての報告をさせていただきます。今回は5校、5名でございます。任命期間につきましては、平成30年5月1日から平成32年4月30日でございます。氏名、区分、委員経験等は記載のとおりでございます。

私からの報告は以上でございます。

庶務課長 それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

教育長 最近、学校運営協議会委員の学識経験者の枠で、どんな人が学識経験者としているのかと校長とか運営協議会の関係者に聞かれることがあるのです。確かに学識経験者と言われても、どういう人が学識経験者なのかという疑問は単純にあると思うのです。学識を有するという事ですから、別に学歴とかそういうことは関係ないし、優れた識見を有する方だったらいいのではないですかという話をすると、では、どんな人がいいのですかと聞かれるのですけれど、私は何とかさんがいいですよとか、どこどこ大学の何とか先生がいいですよという言い方をするつもりはありません。身近なところに、いろいろ相談に乗ってくれて、学校経営とか教育とか、あるいはもっと視点を変えて子育てとか、あるいは最近よく話題になっている貧困とか経済とか、幅広く人材を求めていくということが大事ですから、結構探せばいるのではないですかと言うようにしているのですけれども、学校支援課の方に何かそういう問い合わせというのはあるのですか。

学校支援課長 学識経験者につきましては、一応枠組みを決めさせていただいておりました、1つは教育機関の管理職経験者、それから、弁護士・公認会計士、さらには民間企業でいう経営者、こういった方々が今まで委員として担っていただいております、例えば、私立の中高で長い間校長をやっていた、副校長をやっていたという方が、今までずっと学校と地元の往復だったので、自分の子どももお世話になったので、少し恩返しをしたいと、そのような経験から新たに委員を担っていただいて、学識経験者の枠で、これまでの教育の識見を協議会の中で様々なご意見をいただいていると。このような形が非常に多いかなと思います。

教育長 最近のいろいろな課題を考えていくときに、さっきも言いましたけれども、子どもの貧困とか、あるいは大人の働き方とか、そういう直接子どもの教育にかかわらないように見えるものであっても、その背景にあるものとかを考えていくと、広く教育を支えていく様々なインフラにかかわってくることがあります。そういうふうに考えていくと、元校長がいけないというわけではないですが、学校経営の専門家は校長がいるわけだから、むしろ、いろいろなバックグラウンドというか経験を持っている人の意見を聞いたりしていくことが、私は大事だと思うのですよ。前から言っているように、そういうときに、長年社会で経験してきた、ろうたけた、年をとった人も貴重だけれども、若者の意見も聞いてみたい。若いというと、意外と保護者とかに該当するということから、なかなか委員としての選任が難しいということになるかもしれないけれども、そういう人よりももっと若い、学生とか学生にちょっと経験を積んだぐらいの結婚をしていない、独身の人の意見というのも私は貴重だと思うのです。それから、会社勤めを始めたり、地域の町会などにかかわり始めてまだ間がなくて、いろいろな問題意識を持っている人の意見も聞いてみたいと思うのです。委員としてそういう人をお願いすることが無理だったら、地域教育連絡協議会の会議とかいろいろな会の会合の機会に幅広く、我々が日ごろ見落としがちというか、我々の議論の中になかなかかかわってくる機会がない人の意見もすくい上げていくような、そういう試みも是非して行ってほしいと思います。ファシリテーターをよくお願いする彼は何て言うのでしたっけ。

学校支援課長 山ノ内さんです。

教育長 山ノ内さんからの話を聞いていると、かなり広い人脈があって、

あの方の同世代でいろいろなことを経験していて、結構興味深い話も聞くことができるのですよね。だから、委員に選定すべしという話ではなくて、こういうコミュニティ・スクールで大事なことは、いろいろな人の意見を幅広く聞いて、考える素地を広げていくということがあるので、学校支援課としてそういうサジェスチョンをしたりアドバイスをしたりするような機会があったら、そのような方向にも水を向けてやってくれれば、いろいろな人材が出てくるかもしれないので、是非お願いしたいと思います。

学校支援課長 毎回、教育長から貴重な意見を頂戴していますので、我々も意識を持って、特に若い人という部分は、校長とお話をする際には、そこで丁寧にやりとりを今までしてしまして、何かいけそうだなという芽が少し見えてきていますので、また今後いい報告ができるように頑張ってみます。

教育長 いろいろなところにアンテナを張っておいて、いろいろな人の意見を伺うというのは大事だと思います。

庶務課長 ほかにご意見いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、ないようですので、報告事項1番につきまして以上とさせていただきます。

続きまして、報告事項2番「杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認について」、生涯学習推進課長からご説明申し上げます。

生涯学習推進課長 私からは、平成30年3月承認分の教育委員会共催・後援名義使用承認についてご報告をいたします。3月分の合計でございますが、全部で26件でございます。定例・新規の内訳は、定例が26件、新規はゼロ件でございます。共催・後援の内訳は、共催が3件、後援は23件となっております。

私からは以上です。

庶務課長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

伊井委員 今回は新規のものがないので、これまで気づかなかったことで質問させていただきたいので、そこをお許しいただけたらと思います。2ページの3番の、日本ブルガリア青少年文化交流会の、杉並区立松ノ木小学校とブルガリア・カザンダック民族舞踏団交流会及び東京公演というのがあるのですが、松ノ木小学校はどのようなかかわり方をしてい

るかということと、6ページのキッズフリマというのがありますけれども、済美教育センターとあるのですが、京王百貨店でやるというあたりもあって、どのような感じの内容なのか、ちょっとお伺いしたいと思います。

生涯学習推進課長 私からは、2ページの松ノ木小学校とブルガリア・カザンダック民族舞踏団の件ですけれども、過去に永福小学校ですとか、松庵小学校でもこれを行っているものでございます。どの小学校と一緒にやるかということは、教育委員会事務局で選定を依頼して、今年度は松ノ木小学校ということになっておりまして。松ノ木小学校は、ブルガリアをオリ・パラで応援するというようになっておりまして、松ノ木小学校の方からも是非ということで、今回行われるものでございます。

済美教育センター所長 キッズフリマということで、目的は金銭教育、リサイクル教育ということで、参加費を支払うのですけれども、その中で買い物の仕方だとかそういうものを体験していくというようなもので、今年度は新宿になっていますが、これまでとしまえんでやっていたのですが、前回雨で中止になったということで、今回は新宿です。としまえんでやっていたということで、近隣の区にお知らせをしていくということで、杉並区にも来ているというような状況でございます。

伊井委員 わかりました。ありがとうございます。ブルガリアについては、オリンピック・パラリンピックの関連で、よい経験というか交流になるといいなと思います。ありがとうございました。

庶務課長 ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、ないようですので、報告事項2番につきましては以上とさせていただきます。

それでは、報告事項3番「『平成29年度杉並区中学生小笠原自然体験交流事業』の実施報告について」、済美教育センター統括指導主事からご説明申し上げます。

統括指導主事（寺本） 私からは、「平成29年度杉並区中学生小笠原自然体験交流事業」の実施報告について説明をさせていただきます。本事業は、小笠原の貴重な自然の中での体験学習や、現地の方々との様々な交流を通して人間性や感性を磨くこと。また、環境保全の推進役となり、世界的視野で持続可能な社会を考えることができる資質を高めることを目的に、平成30年の3月、5泊6日の期間にて実施をいたしました。派遣

者は30名で予定しておりましたが、欠席1名となり、29名の派遣となっております。詳細は配布資料のとおりとなっております。

これまでの取組といたしましては、小笠原での自然体験・体験交流、そして、課題追求活動に至るまでに、事前学習会を3回実施して、小笠原についての関心を高め、知識理解を深めてまいりました。今後の取組といたしましては、各自及びグループで設定した課題に対する学習内容と成果について、本日行われる第1回目を皮切りに計3回の事後学習会を通してまとめてまいります。その内容を7月14日の成果報告会にて発表するなど、学校や地域の環境保全活動に積極的にかかわり、成果を還元していきます。

私からは以上です。

庶務課長 それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願い申し上げます。

久保田委員 事前学習会から本番の小笠原自然体験交流、本当にご苦労さまでした。ありがとうございます。私も初めて引率で小笠原に行ってきました。生徒たちと一緒になのですが、予想以上の実りある体験交流ができて、私も本当に学ぶところの多い、充実した6日間でありました。1日目の行き船の中が、低気圧の通過の影響で、とんでもない海の荒れようで、船も大変だったのですが、生徒たちあるいは引率者もほとんどダウンした状態で、そして夜が明けて父島が近づいてきて、海も落ちついてという中で、すばらしいお天気に迎えられて小笠原の生活が始まりました。4日間とも本当にすばらしいお天気で、そして、豊かな自然とかかわりながら体験ができ、また、温かな島の人々との交流もあり、そういった点で本当にすばらしい4日間だったと今思っています。

生徒たちの顔つき、表情、態度等を見ていると、行く前と帰ってきた後で違うなと思いましたが、これからの事後学習会を経て、7月の成果報告会を期待していますし、楽しみにしています。

改めて、本物との出会いとか触れ合い、交流、学び、それが大事だと思いました。今回、やはり済美教育センターの皆様、あるいは次世代育成基金、また、関係者の皆様の支えがあったからこそできた体験交流事業でありました。本当にこれからは是非続けていっていただきたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。

庶務課長 ありがとうございます。

久保田委員 それともう1つ。本当に行きが大変だったという話をしたのですが、そのことが逆に、24時間かけて小笠原に行く意味と価値というのを理屈抜きに生徒たちもわかったと思います。私もよくわかりました。そして、荒波は乗り越えるためにこそあると確信を持ちました。すみません、以上です。

庶務課長 ありがとうございます。

教育長 待てば海路の日和ありですね。

庶務課長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。ありがとうございます。それでは、ないようですので、報告事項3番につきましては以上とさせていただきます。

続きまして、報告事項4番「中央図書館全面改修工事設計等業務委託受託者候補者の選定結果について」、中央図書館次長からご説明申し上げます。

中央図書館次長 それでは私からは、中央図書館の全面改修工事設計等業務委託受託者候補者の選定結果についてご報告をさせていただきます。杉並区プロポーザル選定委員会条例に基づいて設置した、杉並区立中央図書館全面改修工事設計等業務委託受託者候補者選定委員会における選定結果を踏まえまして、株式会社日総建を選定いたしました。本業者の代表者、所在地は記載のとおりでございます。

選定結果といたしましては、資料に示しました選定委員会の外部委員4名、内部委員4名において、募集要項及び審査方法・審査基準を定め、応募があった2事業者について、第一次審査では書類審査、第二次審査ではプレゼンテーションやヒアリングを実施し、評価点数が最上位の事業者を選定いたしました。審査結果は裏面のとおりとなっております。

今後のスケジュールといたしましては、本日以降、業務内容の協議を行い、5月10日には契約締結・設計等委託業務の開始、来年2月には工事設計の完了を予定しております。

私からは以上でございます。

庶務課長 それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

對馬委員 すみません。裏面のこの表を質問して大丈夫ですか。

多分、これの成績のいいほうの会社になったのではないかと思うのですけれども、例えば、合計ではこちらがよくても、項目ごとに見ていく

と、今回決まったほうではない業者の方がいい項目が幾つかあったりすると、そういうところを今回決まった業者の方は努力していただくとか、そういうことをこれからお願いしたりするのでしょうか。

中央図書館次長 今回のプロポーザルの結果につきましては、最終的に評価点の一番下のところを見ていただきますと、86.7%とか91%ということで、通常のプロポーザルに比べて、A社、B社ともかなりいい点数ということで、甲乙つけがたい結果だと思っております。その中でも委員ご指摘のように、項目によってはA社の方が成績がいいというものもあることも確かでございます。プロポーザル選定委員会の中でも、各委員からもご意見が出ましたけれども、B社が選ばれたからといって、全てB社の提案だけを取り上げるということではなくて、A社の方のよかった点もB社の方と協議をして、そういうところも盛り込んでもらいたいということを区からも言ってほしいといったようなご意見もありましたので、そういうことも踏まえて、今後やっていきたいと思っております。

對馬委員 ありがとうございます。せっかくですので、よりよいものができるといいなと思っております。期待しています。

折井委員 すみません。今の関連質問なのですが、心情としては、A社の方のよいところを取り入れた案にしてほしいという気持ちにはなるのですけれども、こういうコンペ、私はよく存じ上げないのですけれども、A社が提示してきた案はそれなりにA社の苦勞の下で出されたもので、それをある意味とってきてしまっても大丈夫なのですか。

中央図書館次長 今回のプロポーザルにつきましては、コンペということではございませんで、中央図書館は、今回建てかえではなくて全面改修ですので、建物の躯体は基本的には残して、内部改修が基本というか、そこが一番やりたいところということになります。そういう中で、特に新規の建物の立ち上げでないがゆえに、逆に難しいところがあると考えておりまして、実際にそこに従事する各社の職員の今までの実績ですとか、そういったようなことをまず重視したということや、あるいは今までの建築に関するいろいろな賞の受賞歴ですとか、そういったようなところをまず1つ重視したということがございます。その上で、昨年教育委員会で決定いただきました中央図書館の改修の基本計画、この区民などの意見も踏まえた基本計画の考え方に対して、この会社がどう基本的

に向き合うのか、どういう考えでやっていくのか、そういった考えをプレゼンテーションでしていただいたということで、それが非常に前向きであり、また実現の可能性があるだとか、あるいはコスト的にも見合うのではないかと、そういった面から審査をしたということでございまして、実際に図面をつくっていただいたとか、そういうことではありません。

折井委員 ありがとうございます。よくわかりました。

庶務課長 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、ないようですので、報告事項4番につきましては以上とさせていただきます。

以上で報告事項の聴取を終わります。

教育長 本日は審議事項がございませんので、以上、報告事項の聴取と質疑で予定を終了したいと思います。

庶務課長、連絡がありましたらどうぞ。

庶務課長 次回の教育委員会の日程でございますが、5月9日水曜日、午後2時から定例会を予定しております。どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

教育長 ありがとうございます。それでは、本日の教育委員会を閉会いたします。